

## 長野県のツキノワグマ目撃及び人身被害の状況

長野県林務部鳥獣対策・ジビエ振興室

ツキノワグマ里地での目撃情報件数の推移

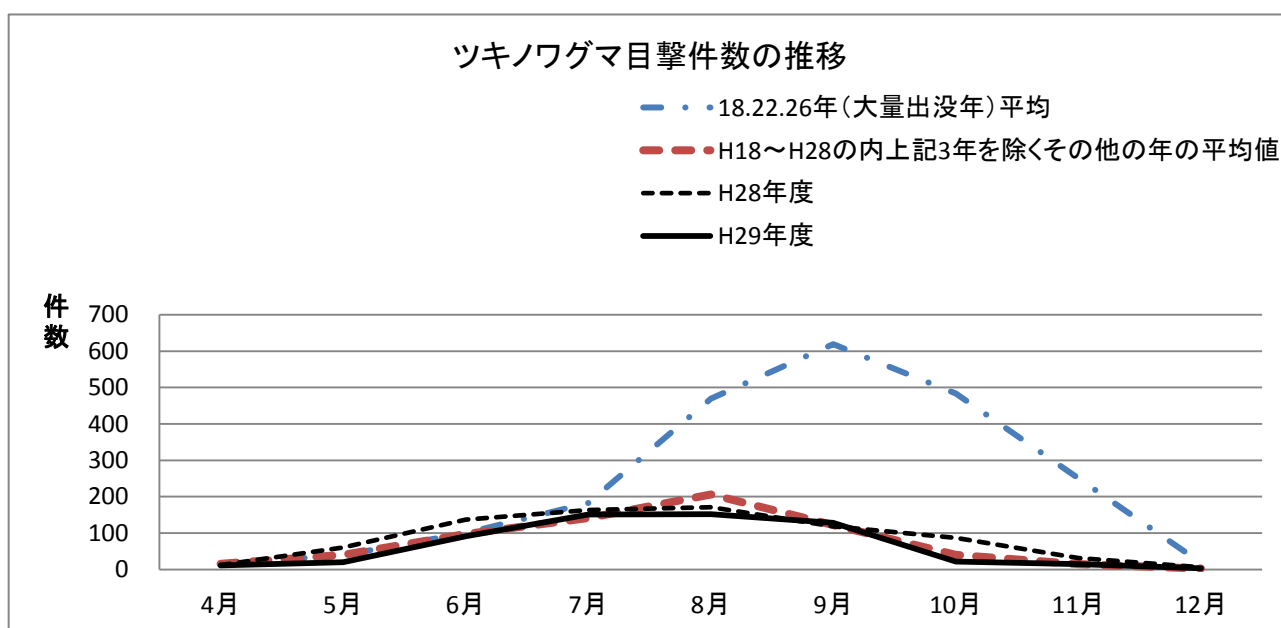
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 - 3月	4-12月累計	人身被害 件(人)
H18	22	27	108	252	817	909	751	434	42	-	3,362	16(18)
H19	35	64	83	164	306	137	28	11	0	-	828	3(3)
H20	12	29	79	131	203	127	46	40	13	-	680	12(12)
H21	6	25	69	103	156	76	6	2	0	-	443	5(6)
H22	8	38	112	159	327	535	269	139	4	-	1,591	14(14)
H23	13	46	115	154	219	96	38	3	0	-	684	4(7)
H24	8	31	84	176	325	286	89	21	0	-	1,020	7(7)
H25	14	41	84	89	147	85	12	4	0	-	476	3(3)
H26	14	52	79	138	263	413	430	177	9	-	1,575	31(32)
H27	25	47	134	142	177	37	12	8	0	0	582	6(6)
H28	12	60	137	163	171	118	87	31	6	1	786	9(9)
H29	11	20	91	151	152	128	22	15	3			6(7)

H29年度の人身被害はH30年1月末日現在の数

凡例	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	4-12月累計	人身被害
18.22.26年 (大量出沒年) 平均	15	39	100	183	469	619	483	250	18	2,176	20.3(21.3)
H18~H28の 内上記3年 を除くその 他の年の平 均値	16	40	97	141	206	122	40	15	2	679	6.1(6.6)
H28年度	12	60	137	163	171	118	87	31	6	785	9(9)
H29年度	11	20	91	151	152	128	22	15	3		6(7)

※人身被害は林内も含めての数字

H29人身被害はH30年1月末日現在の数



- ・平常年は山のエサが少なくなり、農作物が収穫を迎える8月が目撃のピークとなる。
- ・平成18年の大量出沒以降、堅果類の豊凶に合わせて4年ごとに大量出沒が繰り返されていると推察される。(H18、H22、H26)

# 長野県クマ対策の主な取組

～H30の大量出没に向け従来からの取組を確実に実施～

クマ対策員等専門家の助言を受けながら  
地域で効果的な対策を行います。

## 【クマ対策】

- ・ 誘引しない。
- ・ 侵入させない。
- ・ 隠れ場所や移動経路をなくす。
- ・ それでも被害を出す個体は捕獲する。

○山の実りの状況を把握して  
早期にクマの出没を予報

○収穫されないカキなどの  
処理(もぎ取り、伐採)

○人家近くへの出没  
対策をとっても加害を  
繰り返す個体は捕獲

## 自然公園・観光地

○観光客等への注意喚起、  
普及啓発

○集落周辺に近づけ  
させないための緩衝帯  
整備や耕作放棄地の  
刈り払い

○移動経路や隠れ場所になる  
河川沿いの樹林の除去等

○クマの生態や出会わ  
ないための注意など  
正しい知識の普及

○農地等への侵入を  
防止する電気柵等  
の設置

○家畜用飼料などが  
クマを誘引してい  
ないか点検

## 学校

○安全確保のための  
やぶなどの刈り払い

○エサとなる廃果など  
の除去

## 耕作地・集落等

## 通学路等

